

**令和3年度
宮崎県職員採用試験【大学卒業程度（林業）】**

専門論文試験課題

<課題>

本県は、スギを中心とした人工林資源が充実し、大型製材工場や木質バイオマス発電施設の整備に伴う木材需要の高まりにより、伐採面積が増加し、スギ素材生産量が30年連続日本一となるなど、国内有数の木材供給基地として確固たる地位を築いています。

一方、民有林の造林面積はここ数年、スギを中心として2,000haで前後で推移していますが、労働生産性の低さや林業担い手（特に造林・育林作業の労働力）の減少、野生鳥獣被害などによる経営意欲の減退等から、伐採後の再造林が進まない地域も見受けられます。

このような中、県では今後もこの豊かな森林資源を有効活用し、持続可能な循環型林業を確立していくために、伐採可能な資源量の確保が必要であると考えています。

そこで、伐採後の再造林を推進するため、どのような取組が有効であると考えられるか、あなたの考えを述べなさい。